

緑区自立支援連絡協議会 全体会ニュース

発行 緑区障害者基幹相談支援センター 2019年7月

6月20日(木)緑区自立支援連絡協議会・全体会(総会)を緑保健センターで開催しました。

緑区身体障害者福祉協会、緑区手をつなぐ育成会、みどり家族会の当事者家族団体をはじめ、民生委員、障害者相談員、緑区医師会、緑区特別支援教育研究会、地域療育センター、いきいき支援センター、専門部会(日中、居宅、児童、相談、精神)、社協、行政機関(区役所・支所・保健センター)、基幹相談センターの37名(内、傍聴1名)の皆さんで、昨年度の活動報告と今年度の活動計画等について議論しました。

全体会の冒頭に、緑区役所福祉課課長山下様より、名古屋市障害者基本計画、障害者差別解消推進条例についての報告をいただき、続けて福祉課主査高橋様より、みどりっちプラン(緑区区政運営方針)の説明がありました。「子ども・高齢者・障害者 誰もがいきいきと暮らせるまち」づくりとして、協議会の取り組みなどが位置づけられています。

活動報告では、緑区の地域課題、支援者向け全体研修会、第8回障害のある人もない人も共につくる緑区民のつどい、各専門部会(日中、居宅、児童、相談、精神)から昨年度の活動などをニュースや写真を使って報告がありました。各部会で実践交流が活発に進められています。

昨年度からスタートした「地域生活支援拠点」の取り組みについても報告があり、お助けショートステイについて、いくつかの質疑応答がありました。

今年度の第9回障害のある人もない人も共につくる緑区民のつどいは、2020年1月18日に開催することが決まり、障害者スポーツの「ポッチャ」を通じて、障害のある方と区民の皆さんが交流を深められる企画を準備していくという報告がありました。

昨年度「防災部会準備会」として進めてきた取り

組みについても報告があり、今年度から「防災部会」として正式に活動を進めていくことも提案・承認されました。

以上の報告の最後に、1~5号議案(活動報告・活動計画・規約の一部改正・予算・決算・役員選任)の全てが承認されました。

今年度の会長は引き続き、水野ゆり子さん(緑区手をつなぐ育成会)、副会長に精神部会代表の山口紘尚さん(地域活動支援センター ベーすはうす)が承認されました。今年度も皆さんと共に活動を進めていきます。どうぞよろしくお願ひします。



2019年度 緑区自立支援連絡協議会の3つの活動の柱

障害がある人もない人も、誰もが住みやすく、お互いに支えあえる街づくりに取り組みます

地域の支援力アップのために、様々な「つながり」を大切に、「ネットワークづくり」に取り組みます

緑区の地域課題を全体で共有し、具体化に向けて取り組みます